

第67回八丈島民大学講座

首都大学東京提携

私たちの身近にある自然・現象を見つめなおすところから科学のおもしろさを発見し、私たちの人生を豊にする。黄・樺・黒の三色で織りなす黄八丈のデザインから古代ギリシャにさかのぼり、磯の生物アメフラシから人間の脳・神経の存在意義を問う講座を、首都大学東京のご協力で開催いたします。ふるってご参加ください。

記

■9月6日（土）午後7時30分～9時

文様の幾何

～プラトンからケプラーを経て現代に導かれる視点

都市教養学部 小林 正典 准教授（数理情報科学）

【講師のことば】黄八丈に代表される美しい織物の文様。そのデザインの可能性は無限です。その可能性のカギを握る「対称性」について、古代ギリシャから現代に伝わる考え方を解説します。



■9月7日（日）午後1時30分～3時

アメフラシの脳科学

～脳・神経は何のためにあるのか？

都市教養学部 黒川 信 准教授（生命科学）

【講師のことば】八丈島の磯で身近に見られるアメフラシを使って、解明されつつある記憶・学習のメカニズムにも触れながら、動物が脳・神経系をもつ意義と役割について解説します。



■会場 七島信用組合 2階ホール ■参加無料

主催 八丈島民大学講座実行委員会・首都大学東京
後援 八丈町教育委員会 八丈島文化協会 /協賛 七島信用組合
事務局 TEL&FAX 04996 ⑦ 0461